

# 睫毛乱生・眼瞼内反

## どんな病気？

よく聞く「さかさまつげ」はすべて、まつげ(睫毛)が眼球に接触している病気をいいますが、大きく分けて3つの疾患があります。

### ①眼瞼内反

おもに高齢者の下まぶたのさかさまつげです。これは加齢によるまぶたのテンションが緩み、まぶた自体が内側に回転してひっくり返っている状態です。

### ②睫毛内反

おもに小児のさかさまつげです。アジア人に多い先天性の疾患です。下まぶたの内側に多いですが、上まぶたも同時に内反している場合もあります。老人の眼瞼内反と違い、まぶた自体の向き・位置は正常ですが、睫毛のみ内側に向いている状態です。これは生まれつき睫毛を外に向けて牽引する力が弱く、さらにまぶたの余剰皮膚により睫毛が内側に押されていることが原因です。

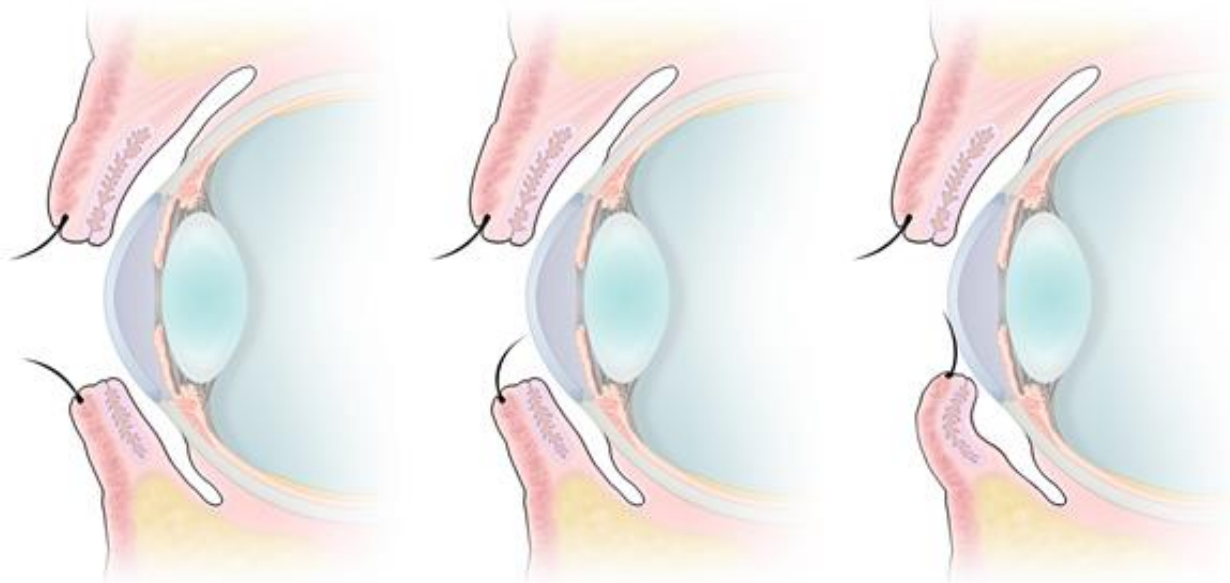
### ③睫毛乱生

まぶたの向き・位置は正常で大部分の睫毛の向きも正常ですが、一部の睫毛のみ配列が乱れて内側へ向いて生えている状態です。通常、後天性で炎症や外傷に伴って生じるといわれています。

〔正しいまつげの生え方(イメージ)〕

〔睫毛乱生(イメージ)〕

〔眼瞼内反(イメージ)〕



## どんな治療？

3つの疾患それぞれ原因が異なるため、治療法も異なります。

### ①眼瞼内反

原因が垂直方向・水平方向のテンションの低下であるため、治療はこのテンションを回復あるいは補強する手術となります。糸による埋没法や切開法としては垂直方向を矯正する※Jones 変法や、水平方向を矯正する※Lateral tarsal strip などがあります。

※Jones 変法…緩んだ下眼瞼牽引腱膜を短縮して瞼板へ縫合する

※Lateral tarsal strip…外眥靭帯の下脚を短縮して骨膜に縫合する

### ②睫毛内反

原因が睫毛を外反させる作用の弱さと余剰皮膚のため、※Hotz 変法と必要に応じて余剰皮膚切除を施行します。そのほか、軽症例には通糸埋没法で睫毛を外反させる方法もありますが、切開法に比べ再発率が高いという欠点があります。

※Hotz 変法…皮膚と瞼板を縫合して睫毛を外反させる

### ③睫毛乱生

一部の睫毛列のみ内側へ向いて生えているため、数本であれば原因の睫毛根を電気で焼灼する睫毛電気分解かアルゴンレーザー光凝固などがあります。多数例の場合、乱世睫毛根を部分的に切り取る睫毛根ブロック切除や広範囲に切除する Wojno 法を施行します。